

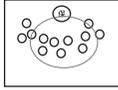
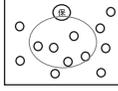
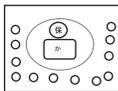
(部分)責任実習 指導計画

実習指導者

印

実習生氏名

印

20xx 年 ○ 月 ○ 日 (△)		場 所	保育室
主な活動 (題材)	身近な素材を使って遊ぶ (新聞紙)	実習 クラス	(3)歳児 ()組 男児(6)名 女児(6)名 計(12)名
幼児の姿 (前日までの 幼児の姿を 多面的に捉 えて書く)	みんなで遊ぶことに少しずつ興味をもち始めてきた。運動会を経験し、友達と体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。年長さんの玉入れやダンスに興味を示して憧れの気持ちをもちている。	保育活動 のねらい	・伸びているときと丸めたときの新聞の違いに気づく。 ・投げたり走ったりジャンプしたり全身を多く使って遊ぶ。 ・友達と簡単なルールのある遊びを楽しむことができる。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
10:00 (導入)		◎保育者のまわりに集まる ○保育者の話を聞く ・口々に気づいたことを話し始める。 ・今までのことのある遊びについて話す。	・あらかじめ保育室の中央に赤いテープで丸い円を引いておく。 ・遊びが始まることを伝え集まるように声をかける。 ・始まる遊びに興味をもてるようにする。 ・新聞紙を取り出して、振ったり、ひらひらさせたりしてみせる。 ・どんなふうに見えるか子どもたちの見立てを聞く。
10:05		◎新聞紙で遊ぶ ○新聞紙をもらう ○新聞紙の性質を楽しむ遊ぶ ・広げた新聞紙の両端を持ってふわっと持ち上げたりする。 ・細かく振って波打たせてシャカシャカと音を出すことを楽しむ。	・破かないためにはどうするか、友達の顔や目に当たらないよう素早く振り回さないことを伝える。 ・新聞紙を配る。 ・全員にいきわたっているか確認する。 ・新聞紙を破かないように広げることを伝える。 ・子どもたちが1枚の大きな紙の感触を楽しめるようにする。 ・破いてしまった場合の代わりを用意しておく。
10:10		○新聞紙ボールを作って遊ぶ ・新聞紙を破る。 ・破いた紙を各々小さく丸めボールを作る。 ・自分で丸めたボールで遊ぶ。	・新聞紙を2つに裂く様子を見せて活動を始める。 ・新聞紙には破きやすい方向があることを伝える。 ・うまく破れなくても大丈夫だと声をかける。 ・勢いをつけて新聞紙を小さく丸めてボールを作るところを見せる。 ・「どんなボールができたかな」と声をかけてボール遊びを促す。 ・先ほどの新聞紙と何が違うかを問いかける。 ・必要に応じてテープ等で補強する。
10:15 (主活動) ※サブシー ト参照	 【ルール】 ボールを円の中に置いて赤い線の外で待機する。 保育者が「よいどん」と言ったら素早くボールを拾ってかごに入れる。	○新聞紙ボール入れをする ・新聞紙ボールで狙ってボール入れをする。 ・投げると苦手な子は直接かごに入れる。 ・ボール入れのルールを聞く。 ・ボール入れを楽しむ。 ○巨大新聞紙ボールを作って遊ぶ ・新聞紙ボールを集める。 ・巨大新聞紙ボールを投げて遊ぶ。	・間口が広く角が丸いかごを中央に用意する。 ・ボールを入れるように伝える。 ・あらかじめ作っておいた新聞ボールを加えてボールを増やす。 ・新聞紙ボール入れのルールを説明する。 ・子どもたちの間隔を見ながらボールをばらまく。 ・保育者の持つかごに走らないでボールを捨て、直接入れたりしてボールを集めるように伝える。 ・保育者のまわりに子どもが集中するので、2回目以降は男の子だけ、女の子だけなど、グループを変えて行う。 ・慣れてきたら投げたり走ったりも取り入れていく。 ・かごの高さで難易度が変わるので保育者が調整する。 ・急ぎすぎてぶつかったりしないようまわりをよく見るように伝える。 ・何度か繰り返す。 ・見ている子は友達を応援するように伝える。
10:25 (まとめ)			・新聞紙ボールを、ビニール袋の中に集めるように呼びかける。 ・集まったビニール袋の口を閉じて大きなボールを作る。 ・子どもたちの状態を見ながら、活動の終わりを告げる。
10:30		◎保育者の話を聞く	・子どもたちの感想を聞き、次の活動へとつなげる。
自己振り返り・評価等			